

2021/4/24(土) お花見山行（滝子山 1610m）

メンバー：L 辻、福田、岩田

笹子駅近くで登山者を何組も目撃。駅から山を目指す人が沢山いる。

桜森林公園？到着。目の前に高い格子状のゲートが現れ、中から軽トラの作業員風の方が登場親切に駐車場と南稜入口のルート説明までしてくれた。その時点で3台駐車あり。

ところが反時計回りの南稜入口を目指して歩き出したのに、途中で時計回りに進んでいることに気が付きすぐ引き返す。10分くらい戻り、消えかかった寂しう尾根分岐の看板を発見。なんとも分かりにくい。最初から冷汗ものである。暗い杉の植林は細い木が密集していて冷んやりしている。大きな送電鉄塔を超えたあたりから柔らかな新緑と色鮮やかなミツバツツジがどんどん数を増していった。どこもかしこもミツバツツジのオンパレードとなる。足元にはヒトリシズカがあちこちに群生。もう少しすればイワカガミの群生が山を彩るのだとか。緩やかなアップダウンを繰り返し、いよいよ急峻な岩稜帯へ取りつく。

下りには使うなと表記されている急峻な岩稜帯はなかなか登りごたえがあり、意外と長かったが楽しかった。浜立尾根の稜線の2つのピークをアップダウンし山頂に到着。山頂からは見事に真っ白な富士山が絵葉書のようにきれいに見られて2つ目の目的を達した。山頂は大勢の登山客で賑わっており、自分達も花よりだんごの昼食タイムを楽しむ。

周遊の下山ルートは急峻な岩稜帯とは違って緩やかな歩きやすい登山道。防火帯が緩やかに続きまるで別の山を歩いている様だ。ズミ沢の源流部から迂回ルートを進むが、花崗岩が砂状に崩れ落ちザレて滑り易い急峻な登山道。本当に沢ルートより安全なの？？と思いながら滑り落ちない様に慎重に下る。こちらにもミツバツツジ、ハシリドコロ、ヒトリシズカが群生。途中から落ち葉に埋め尽くされ雪庇のようになった落ち葉庇に気を付けながら下山。

沢ルートと合流後、沢の中にキラキラ金色に輝くもの発見。「もしや砂金か？？」信玄の山梨だし・・・まさかね？帯状にかなりの量が光っており凄く気になった。白い砂と砂金？と澄んだ水。まもなく三丈の滝が現れ新緑のきれいな溪谷美を堪能した。

新緑の芽吹き、鮮やかなミツバツツジ、絶景の富士山、溪谷美、大満足のお花見山行となった。あのキラキラした黄金色の物体、粉砂金なのか黄鉄鉱の粉なのか気になるなあ～。  
ちなみに砂金は2mm～1.6mm それ以下が粉砂金らしい

【コースタイム】 天気：晴

登山口駐車場 7：45～南稜入口（寂しう尾根）～鉄塔～9：30 南稜～

浜立山分岐 10：50～11：10 滝子山山頂 大休憩 12：00 出発～大谷ヶ丸分岐（オヤガマル）

防火帯～14：00 道証地藏（ミチアサ）～車道～南稜入口～14：40 登山口駐車場





ヒトリシズカ



ミツバ ツツジ



ハシリトコロ





イカガミ



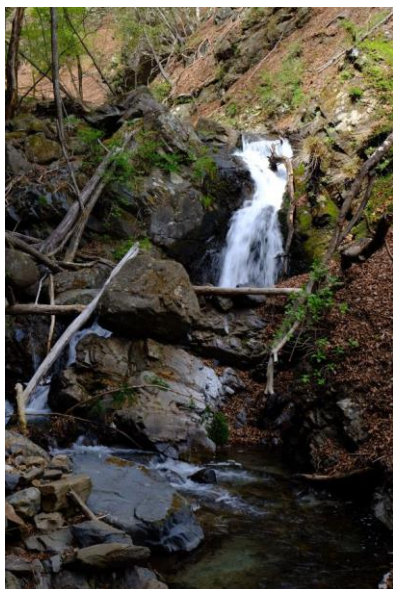
防火帯



ヒコスミレ



三丈の滝



枯れかかった松に自生  
オブジェみたいなキノコ



粉砂金？（一面金彩状態）

